

ヤングケアラーとは —見えにくさの理由を探る—

大阪歯科大学医療保健学部（社会福祉士コース）

濱島 淑恵

1. ヤングケアラーとは

Young carers = ケアを担う子ども・若者たち

ヤングケアラーの定義

日本では正式な定義はまだない。

日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクト

「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子ども」

英：18歳以上をヤング・アダルト・ケアラーと呼ぶ。

豪：25歳までがヤングケアラー。

→ケアを担う子ども・若者たち

2. 日本における実態把握

2016年 濱島・宮川 大阪府における高校への調査

※2018年には埼玉県の高校11校への調査も実施。

ヤングケアラーの存在割合 約5%

2020年 埼玉県 高校2年生への調査 約4%

2020年12月～2021年1月 厚労省 中2・高2への調査

中学生 約6% 高校生 約4%

2021年度 小学生、大学生への調査 約6%

ヤングケアラーのケアの相手

要介護状態である
(身体機能の低下、認知症)

幼いため

祖父・祖母

父親：依存症である

きょうだい

父親・母親

病気や障がい
等を有する

障がいを有する

母親：精神疾患・
精神障がいがある



外国にルーツのある
ヤングケアラーも

子どもがしているケアの内容は？

(大阪高校生調査)

1位 家事 ⇒いずれの調査でも1位

2位 力仕事

3位 外出時の付添 →通院の付き添いも

4位 感情面のサポート

5位 病院・施設へのお見舞い

6位 年下のきょうだいの世話



その他、見守り、身体的介助、医療的ケアなど

- ・ケアの内容は日常的なものから高度なものまで様々。
- ・直接的な介護もあるが、家事、感情面のサポート、見守り、特定の場面での身体的なケア（外出時の付添、力仕事等）が多い。

⇒ 「ケア」とみなされにくい？
大したことないと思われがち？

□ケアの頻度

ほぼ毎日、ケアをしているケースが約半数

□ケアの時間

1時間未満等、短時間のケアを担っているケースが多い
一方で長時間のケアを担っているケースが一定数いる

□現在は負荷が大きくななくても、その後、変化する可能性がある。
ある。

ケアの時間

1日のケア時間	学校がある日		学校がない日	
8時間以上	14	5.1%	31	11.4%
6時間以上8時間未満	9	3.3%	17	6.3%
4時間以上6時間未満	16	5.9%	14	5.1%
2時間以上4時間未満	22	8.1%	43	15.8%
1時間以上2時間未満	41	15.1%	48	17.6%
1時間未満	111	40.8%	74	27.2%
その他	23	8.5%	18	6.6%
不明(無回答など)	36	13.2%	27	9.9%
計	272	100.0%	272	100.0%

【4時間以上】
 学校がある日
 39名 14.3%
 学校がない日
 62名 22.8%

□日本にも一定の規模でヤングケアラーが存在する。

□調査の結果も氷山の一角？今後、増える可能性も？

5. ヤングケアラーが抱える問題・困りごと

学校生活への影響

遅刻、欠席、宿題忘れ、成績不振
先生との関係、「学校が楽しくない」



衛生面・栄養面

いじめとの関連

親子関係の逆転・

「親」の欠如

孤立・孤独

「誰にも話せない」



健康面への影響

精神的健康、身体的健康に影響が
出る場合もある

友人関係への影響

「友人関係が上手くいっていない」
話が合わない、部活動でトラブルなど

情緒不安定、希死念慮

摂食障がい、パニック障がい、解離

慢性的疲労状態、過呼吸

体がだるい、めまいがする、腰がいたい

全体的に調子が悪い

介護口ス

- 家族のケアを担うことは悪いことではない。
そこから得るものも多い。
- しかし、ケアを担うことで様々な負担、困難を抱え、
それが生涯にわたって重大な影響を及ぼすことがある。
→ 「子どもの人権」にかかわる事柄である

「子どもの権利条約」子どもの権利は大きく分けて4つ



生きる権利

すべての子どもの命が守られること



育つ権利

もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療や教育、生活への支援を受け、友達と遊んだりすること



守られる権利

暴力や搾取、有害な労働などから守られること



参加する権利

自由に意見を表したり、団体を作ったりできること

※1989年の第44回国連総会で採択、1990年に発効。日本は1994年に批准。

ユニセフHP https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html

4. 見えにくいヤングケアラー

- ・ ヤングケアラーが担うケアの特徴
- ・ 本人からの発信は難しい：客観視、言語化が難しい
家族が批判される、家族に悪い
- ・ 社会の意識：家族でするのは当たり前、手伝いはいいこと、昔からよくある話
- ・ 家庭の内部事情は踏み込みにくい

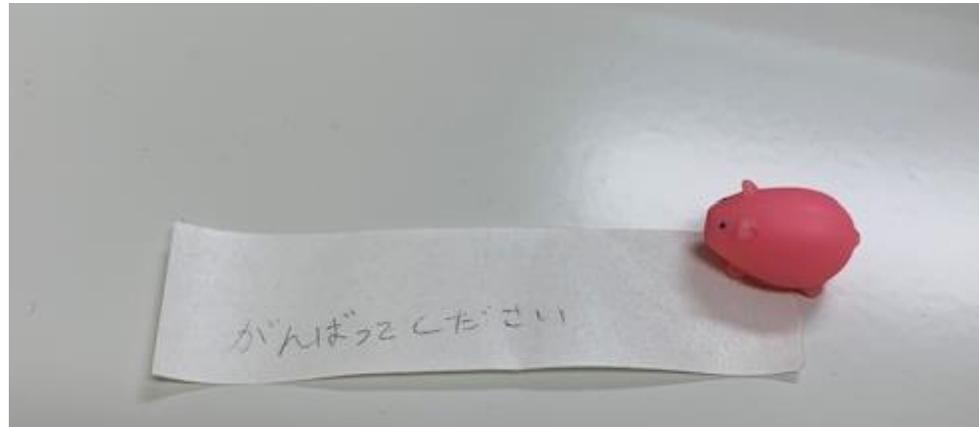
教育、医療・福祉現場の
感度の良いアンテナとスキルが必要

おわりに

「助けてほしいとは思わない。ただわかってほしかった。」

皆さんの地域、職場にヤングケアラーへの理解を広めてください。

ご清聴ありがとうございました。



本報告は科学研究費補助金（課題番号：17K04256, 20H01606）
を得て行っている調査研究の一部である。

ふうせんの会 ーヤングケアラーのつどいー

奇数月 第2日曜

ヤングケアラーの「つどい」を開催

※大阪歯科大学医療保健学部「牧野キャンパス」
と大阪市内の会場で交互に開催。

※オンライン参加も可

偶数月 第3水曜夜 オンラインサロン

同じ様な立場の人が集まりおしゃべりをしています。

詳しくはHPをご覧ください！

ヤングケアラーに関する 大阪府のアンケートについて

大阪府立伯太高等学校

校長 大崎 弘司

◎ 回答数の確保

- ・ 教室内での回答
- ・ 安心安全な環境設定

◎ 面談を実施して

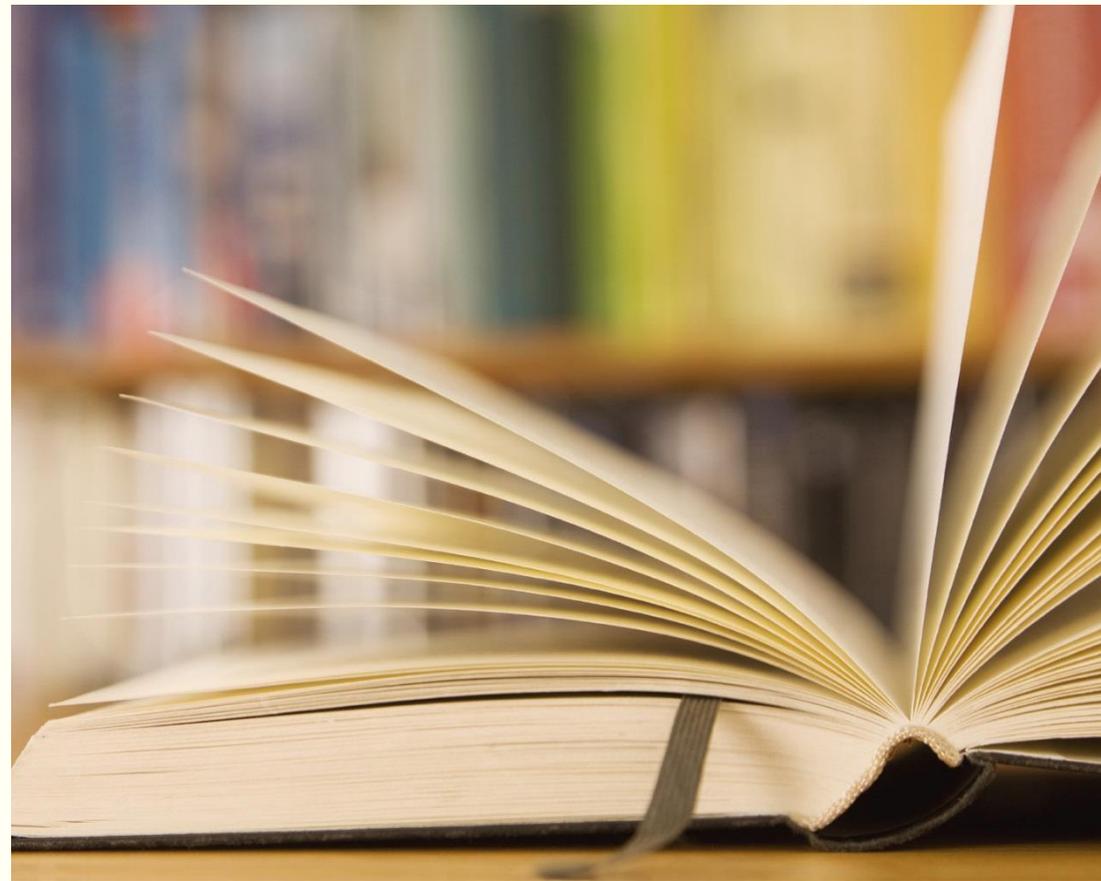
- 生徒の現状認識
 - ・ 家庭内での役割化
 - ・ 自己の存在として

◎学校として

- ・ 高校生になったからではなく、
中学校もしくはそれ以前からの継続
- ・ 家庭環境を意識して、遅刻、欠席の理由など、ちょっとした会話から

ヤングケアラーへの スクールカウンセラーの関わり

臨床心理士・公認心理師 桜谷真美



1. SCはどのような場面でヤングケアラーを知るか

校内会議（不登校対策会議・生徒指導会議・ケース会議等）

最近Aが授業中に居眠りが多く気になります。今までにはなかったですよ

Bは母が朝早くから働きに出るようになってから遅刻が増えています

最近アルバイトを始めたと言ってたけどなにか理由があるのかも

小さい弟妹がいたけど、保育園の送迎は誰がしているんだろう？

高齢の祖父が退院してから、夜に徘徊するので大変と話していたな

お弁当ではなく、購買でパンを買っていることが増えてない？

本人の課題と決めつけない

背景に何があるのか考える



1. SCはどのような場面でヤングケアラーを知るか

教職員との会話から

自分の意思で辞める
わけではなさそう？

入院？大きな病気？
経済的にはどうなる
のかな



Cが家庭の事情で部活を
辞めたいといっています。
理由は話してくれません。

こここのところ部活の試合
でも調子が悪かったんで
すが・・・そう言えば
少し前にお父さんが入院
したといっていました。

家の事情によっては、他の生徒がそばに居たら
話しにくいのもかもしれないね。一度個別に話を
聞く時間を作ってあげたらどうかな。

**家庭内のことは他人に話しにくい場合がある
ので、安心して話せる環境で聞く**

1. SCはどのような場面でヤングケアラーを知るか

カウンセリングの中で

弟の宿題も見せてあげない
といけないし、晩ご飯を
作らないといけないから
宿題を始めるのは夜遅く
になってしまう

お母さんが一生懸命
働いているから私も
頑張らないと



私が家のことをしないと
いけないから、友だちと
遊びにもいけないし、な
んとなく話が合わない

両親が離婚してから
自分の時間がないな

自分が置かれている状況はすぐに話せても、心の奥にある葛藤を話せるまで時間がかかることもある

2. 話を聴くときに気を付けること

■ 子どもが話せるペースに合わせて寄り添う

「話しにくい、、、でも聞いて欲しい」という葛藤

「家のことをどう思われるんだろう」という心配

「家のことを話してしまって、お母さん（お父さん）に怒られないかな」

「大変なのは自分だけじゃないかも」

それらの気持ちにより添い、安心して話せる場にする

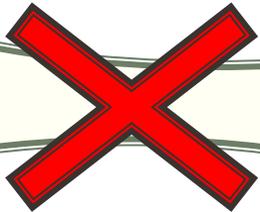


2. 話を聴くときに気を付けること

■「ケア」していることを良い、悪いの判断や

聞き手の主観で返さない

家のことや家族のことを手伝って偉いね



君一人に押し付けるなんてひどいね

なんで僕ばかり・・・



しんどいけど頑張らないといけないんだ
不満に思ってはダメだ

僕の家族だってそう
したくてやってるわけじゃないのに...

それ以上話せなくなってしまう

2. 話を聴くときに気を付けること

■子どもで居られる時間、自分らしくあれる時間

いろいろなことを諦めたり、無気力になってしまわないよう、**自分らしく**
いられる時間や**将来（や進路）**について**語る時間**も大切にする

中学に入ったら部活
に入りたいな

お母さんに聞いて欲しい
話がたくさんあるの



好きなアニメを見て
ゆっくりしたい

今度の休みは一日中
友だちと遊びたいな

3. 専門家との連携

- SSWとの連携は必須（SSW同席面接・個別面接など）

子どもが自分の将来の可能性を具体的に考えられるように環境支援や福祉的な情報提供



環境支援

心理ケア

ヤングケアラー
～気づいて、つなぐには～

スクールソーシャルワーカー
野田満由美

お伝えしたいこと

- ・気づく（発見）
- ・つなぐ
- ・高校内における教員とSSWの協働
- ・ヤングケアラーをどうとらえていくか

お伝えしたいこと

- ・ 気づく（発見）
- ・ つなぐ
- ・ 高校内における教員とSSWの協働
- ・ ヤングケアラーをどうとらえていくか

●ヤングケアラー調査について

①校内で工夫されていた点

- ・回答しやすくするために
- ・回答が集めやすくするために
- ・回答した声を何かアクションできるように

②調査後の取り組み

- ・生徒面談

発見するため、きづくためにはどんな機能が必要か

●校内で生徒理解するための取り組み

- ・ 高校生活支援カード
- ・ 中学校からの申し送り
- ・ クラス・保健室等の情報
- ・ SC・CCの情報
- ・ 校内カフェの情報

●校外との連携

- ・ 子育て支援室
- ・ 民間の支援団体

気をつけていること

- ・ 家族のために注力した時間や思い
- ・ 虐待・子どもの権利(労働力の担い手)を見落とさない
- ・ 生徒からの「声」保護者からの「声」を評価しない
- ・ 子育て文化の違い(外国籍、地域など)
- ・ 子どもが家族の役割を超えた役割(内面化させられた問題)

必要なサポート

- ・ 葛藤する状況を理解する
- ・ 「自分」を優先する機会の提供
- ・ あきらめなくていい、自分で選択した経験

小学校におけるヤングケアラーへの取り組み

和泉市立鶴山台南小学校 校長 大槻亮志

現状と課題

- 「ヤングケアラー」の認知と理解
- 学校で把握・・・全数調査できるから・・・
 - ・ 対小学生としての定義、とらえ
 - ・ 存在の可能性への認識
 - ・ 虐待、ネグレクト等との相関、相関無しの場合の認識・把握
 - ・ 把握方法
- 高校生で突然に・・・

取り組み

○ヤングケアラーの理解に向けて

- 一般的な知識も必要だが、子どもへの支援を考えるために
- ヤングケアラーからの情報集約、事例集約は有効

- ヤングケアラーと把握して何ができるのか、何をすべきか
発達段階、関係機関ごとに明確化